



だれもが、いつでも、どこでも、運動・スポーツに親しめる環境づくり

主担当部局：くらし創造部



奈良マラソン 2015

目指す姿

「活き活きと安心して健やかに暮らせる健康長寿の奈良県」を実現するため、生涯にわたり、「県民のだれもが、いつでも、どこでも、運動・スポーツに親しめる環境づくり」を目指します。

目標



●平成31年度までに、1日30分以上の運動・スポーツを週2回以上実施し、1年以上継続している人の割合を

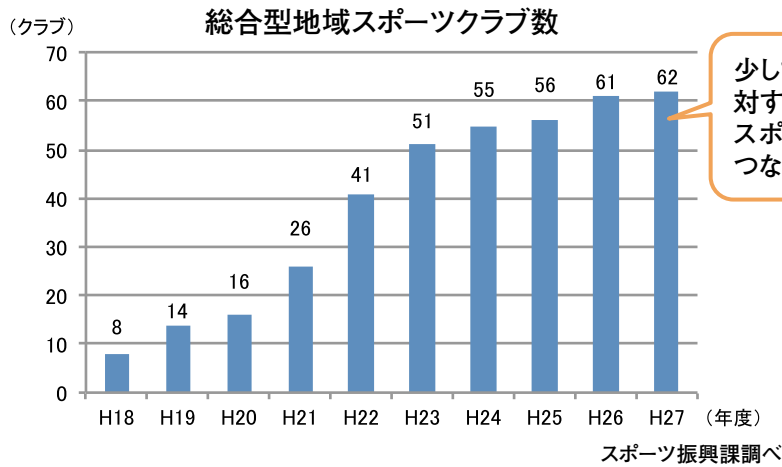
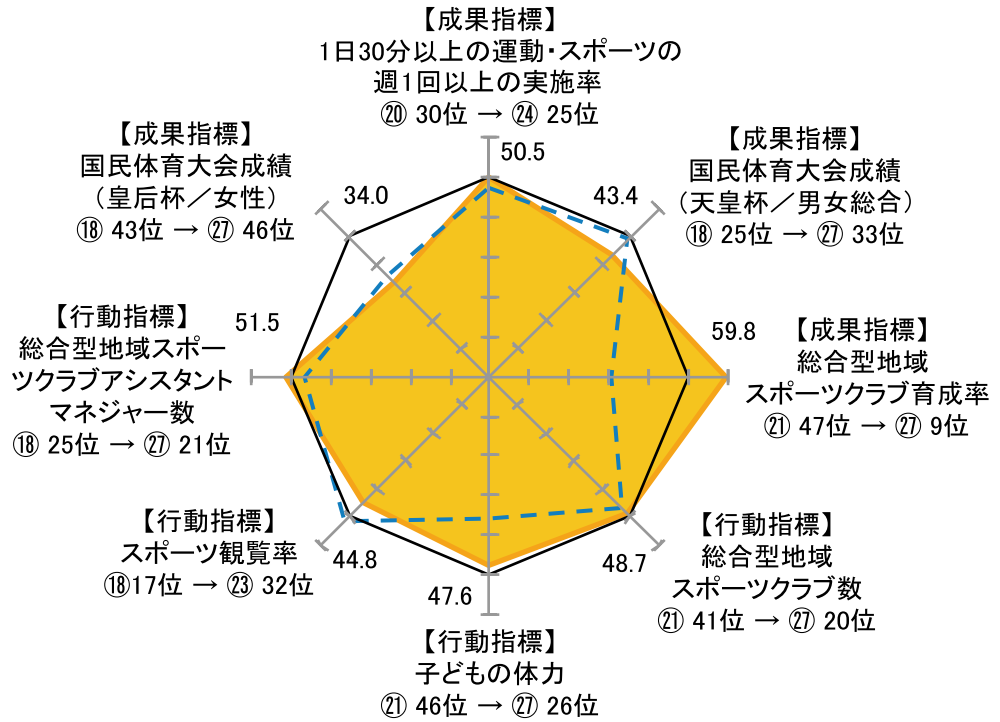
50%以上

に増やします。

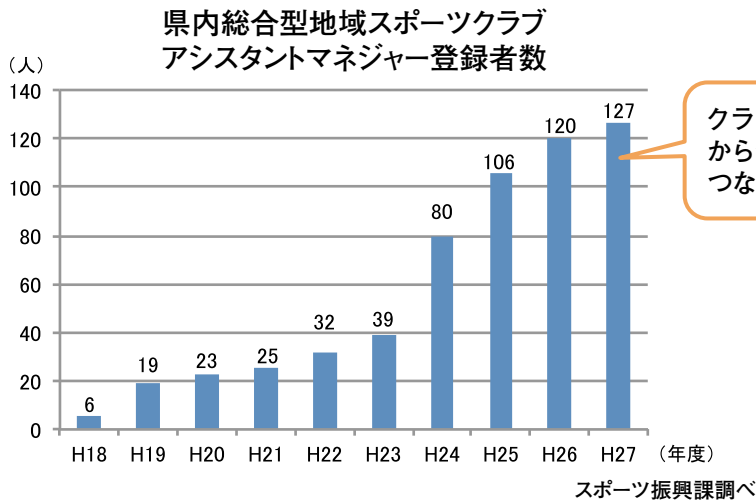
(平成26年度：女性42.2%、男性45.2%)

分析

■ 主な指標



少しずつですが、市町村に対する支援が、総合型地域スポーツクラブの増加につながっています。



クラブ運営の必要性から登録者の増加につながっています。

戦略 1

だれもがいつでもスポーツを楽しめる環境の整備、地域で楽しむスポーツの推進を図ります。 主担当課：くらし創造部 スポーツ振興課

戦略目標

- ▶ 県内にある総合型地域スポーツクラブのうち、活発な活動をしているクラブを増やします。
- ▶ **スポーツイベント**（総合型地域スポーツクラブ交流大会）の参加者数を平成29年度までに**5,000人**、平成34年度までに**10,000人**に増やし、スポーツツーリズムを推進します。（平成26年度：3,038人）

取り組み

総合型地域スポーツクラブによる基盤づくり

ライフステージに応じた運動・スポーツの推進

障害者の運動・スポーツの推進

身近な公共施設等の活用

南部地域・東部地域の振興を目指したスポーツイベントの実施

参加型スポーツイベントの実施



ならシニア元気フェスタ「グラウンド・ゴルフ」
(橿原公苑陸上競技場)

工程表

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
総合型地域スポーツクラブによる基盤づくり				
◎総合型地域スポーツクラブの設立・育成	→ 設立・育成等の支援、啓発活動			
ライフステージに応じた運動・スポーツの推進				
◎トップアスリートと子どもとの交流イベント等の実施	→ 継続実施			
◎総合型地域スポーツクラブと学校との連絡強化	→ 交流イベントの開催・指導者の派遣			
◎高齢者スポーツ文化交流大会(愛称「ならシニア元気フェスタ」)の開催	→ 「ならシニア元気フェスタ」の開催			
障害者の運動・スポーツの推進				
◎障害者スポーツフェスティバルの開催	→ 継続実施			
◎奈良県障害者スポーツ大会の開催	→ 継続実施			
身近な公共施設等の活用				
◎県立学校体育施設の活用	→ 高等学校等の体育施設の開放			
◎橿原公苑におけるナイトランの実施	→ ナイトランの継続実施			
◎橿原公苑将来構想の検討	→ 将来構想策定	→ 計画的な整備の検討		

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
南部地域・東部地域の振興を目指したスポーツイベントの実施				
◎サイクルスポーツイベントの開催支援	→ 開催支援			
◎アウトドアチャレンジズ開催支援	→ 開催支援			
◎弘法大師の道を活用したトレイルランニングレースの開催	→ イベントの継続実施			
参加型スポーツイベントの実施				
◎奈良マラソンの実施	→ 継続実施			
◎「バトンをつなげ! 400mリレーフェスティバル」の実施	→ 継続実施			
◎総合型地域スポーツクラブ交流大会開催支援	→ 開催支援			
◎リレーマラソン大会の実施	→ 継続実施			

戦略2

あこがれ・感動を生むスポーツの推進を図ります。

主担当課：くらし創造部 スポーツ振興課

戦略目標

- ▶ 平成34年度までに、多くの人にあこがれや感動を与えるプロスポーツなどの試合数を60試合に増やします。(平成26年度：32試合)

取り組み

トップアスリートの育成

奈良県スポーツアカデミーの整備

ラグビーワールドカップ・東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地招致、関西ワールドマスターズゲームズ競技地招致準備

プロスポーツ等の試合の招致



奈良クラブ選手との交流（橿原公苑陸上競技場）



少年少女野球教室（佐藤薬品スタジアム）

工程表

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
トップアスリートの育成	合同練習会・トレーニング・研修会等の実施			
奈良県スポーツアカデミーの整備	整備に向けた取り組み			
ラグビーワールドカップ・東京オリンピック・パラリンピックキャンプ地招致、関西ワールドマスターズゲームズ競技地招致準備	招致調査、招致準備活動			
プロスポーツ等の試合の招致				
◎プロスポーツ等観戦機会の創出	招致に向けたプロモーション活動・関係機関との調整等			

これまでの成果

旅行会社と提携した**パック旅行の企画**や、台湾で開催される観光庁主催イベントでの**誘致活動**などにより**奈良マラソンへの海外からのエントリー数**が235名(平成26年)から**413名(平成27年)**に増加しました。

★スポーツの活性化と子どもたちにあこがれ感動を与えることを目的に、プロ野球選手をはじめバスケットボール、サッカー、水泳の**トップアスリートによるスポーツ教室**を**5回実施**しました。

奈良女子大学と連携し、**総合型地域スポーツクラブのPRイベント**を県内の大型商業施設**2カ所**で開催し、合計**950名**の参加がありました。

相撲発祥の地奈良県体験**ツアーイベント**に、**県内外から111名**の参加があり、県内の相撲ゆかりの地巡りや、郷土力士の徳勝龍関との交流などを実施しました。

主な指標の動き

■よくなっている指標

1日30分以上の運動・スポーツの
週1回以上の実施率

46.7%

(平成20年度 全国30位)



52.1%

(平成24年度 全国25位)

徐々にではありますが、運動・スポーツを継続的に実施する人が増加しました。

総合型地域スポーツクラブ育成率

38.5%

(平成21年度 全国47位)



94.9%

(平成27年度 全国9位)

平成22年4月にスポーツ支援センターを開設し、市町村などへの訪問活動などを強化した結果、育成率が上昇しました。

■変化が見られない指標、低下している指標

国民体育大会成績
(天皇杯／男女総合)

25位

(平成18年度)



33位

(平成27年度)

過去15年間の結果を見ると、3大会は20位台の成績でしたが、全体ではあまり変化が見られない状況です。



ツアー・オブ・奈良・まほろば (宇陀市)



相撲発祥の地奈良県体験ツアーイベント (葛城市相撲館)



総合型地域スポーツクラブPRイベント (奈良市)



RUN × 2 リレーマラソン (橿原公園陸上競技場)



学校と総合型地域スポーツクラブとの連携 (吉野町)